

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**  
**平成 29 年度第 2 回理事会**  
**議 事 録**

- 1 開催日時** 平成 29 年 6 月 8 日（木）10 時 30 分から 11 時 40 分まで
- 2 開催場所** 横須賀芸術劇場 楽屋 8
- 3 出席者** 理事総数 6 名  
出席理事 6 名（代表理事・理事長を含む。）  
小沢一彦（理事長）、木村忠昭（副理事長）、  
平井 毅（常務理事）、齋藤道子、竹内英樹、渡辺晴夫  
監事総数 2 名  
出席監事 2 名  
鈴木嘉明、山寄進康

**4 議 長** 小沢一彦（代表理事・理事長）

**5 決議及び承認事項**

- 議案第 2 号 平成 28 年度事業報告及び決算（案）について  
議案第 3 号 平成 29 年度補正予算について  
議案第 4 号 評議員候補者の選出について  
議案第 5 号 役員の任期満了に伴う次期候補者の選定について  
議案第 6 号 定時評議員会の招集について

**6 報告事項**

- （1）平成 29 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について  
（2）「第 17 回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2017』オーディション in YOKOSUKA」の開催結果について

**7 議事の経過概要及びその結果**

定刻に小沢理事長が議長席に着き、天沼業務部長が開会を宣言。

定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、小沢理事長を議長に選出。

小沢理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。

併せて、定款第 37 条第 2 項に基づき、小沢理事長、木村副理事長、鈴木監事及び山寄監事を議事録署名人に指名した。

小沢理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

**（1）議案第 2 号 平成 28 年度事業報告及び決算（案）について**

大倉事業課長（事業報告）及び水野管理課長（決算）が詳細を説明。

説明によると、平成 28 年度は、受託した指定管理期間 8 年間の 3 年目にあたる。更なる横須賀市の芸術文化の振興に寄与するため、各事業に取り組んだ。芸術普及事業については、市民に多彩な鑑賞機会を提供するため、60 公演を実施した。芸術育成事業については、若手アーティスト学校派遣や、劇場専属合唱団を運営することで、多くの市民が芸術文化に触れ、文化活動に参加できる環境を整えた。

施設管理事業については、営業活動を通じ利用促進を図り、安全管理に努めると共に、修繕による使用環境の改善と適格なサービスにより、利用しやすい施設の維持に努めた。その他事業全般において、横須賀市の文化施策と連携し、横須賀芸術劇場が「市民の賑わいと交流を生む場」、「文化振興の拠点」となるよう事業を実施した。

決算額については、劇場利用料収入及び駐車場利用料収入が増収となったこと、各担当業務で経費節減に努めた結果、当初予算から改善したこと、かつ適正な公益目的事業比率を確保した。また、事業資金確保や定年退職者への退職金に充てる費用として、舞台・音楽芸術普及特定資産の一部取崩しを行うなど、財源確保に努めた。

次に、小沢理事長の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・竹内理事：プレミアム倶楽部の年齢比について、50代以上が9割を占めている。今後は若い世代に向けたアピールが必要だが、無料モニター制度を立ち上げ実施していることは良い視点であり評価できる。まだ人数が少ないことが課題だと考えるが、応募状況はどうか。
- ・大倉課長：周知はインターネット、学校、少年少女合唱団等を実施した。応募が少ない理由として、部活動、SNSアカウント等の問題があるようだが、今後は更に参加者数を増やしていけるようにしたい。
- ・小沢理事長：若い世代は興味のないものは振り向かない。高校生、大学生世代の趣向も視野に実施されたい。
- ・竹内理事：利用稼働率、入場者数が昨年度より上がっている。要因は何と考えるか。
- ・水野課長：一つの要因としてプロモーターの長期利用があげられ、利用稼働率、入場者数の増加につながった。
- ・竹内理事：周辺への経済効果について、公演時に市内の店舗等とタイアップしているか。
- ・大倉課長：プレミアム倶楽部会員については、近隣の店舗と提携し、割引サービスを提供してもらうなどのサービスを実施している。一般の購入者に向けても今後検討していきたい。

以上、小沢理事長が諮った結果、出席者全員一致をもって原案のとおり承認された。

## (2) 議案第3号 平成29年度補正予算について

水野管理課長が詳細を説明。

議案第2号により平成28年度決算(案)が承認されたため、決算確定前に承認された平成29年度予算の正味財産の期首残高を平成28年度決算(案)の期末残高と一致させる必要があり、補正収支予算を編成したい旨説明。

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

## (3) 議案第4号 評議員候補者の選出について

水野管理課長が詳細を説明。

上条浩評議員から、評議員を辞任する旨申し出があったため、野間俊行氏を新たな評議員候補者として選出し、評議員会に推薦したい旨説明。理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

## (4) 議案第5号 役員の任期満了に伴う次期候補者の選定について

水野管理課長が詳細を説明。

現在の役員の任期は、次回の定時評議員会の終了をもって任期満了を迎える。小沢理事から任期満了を機に退任したい旨申し出があった他、後任候補者として、理事に木村忠昭氏、齋藤道子氏、竹内英樹氏、平井毅氏、渡辺晴夫氏、鹿島勇氏、平松廣司氏の7名を、監事に鈴木嘉明氏、山寄進康氏の2名を評議員会に推薦したい旨説明。また、すべての候補者については、本評議員会において選任された場合に即時就任する旨の承諾を得ている旨説明。

以上、小沢理事長が諮った結果、出席者全員一致をもって原案のとおり承認された。

## (5) 議案第6号 定時評議員会の招集について

水野管理課長が詳細を説明。

- ・ 用件 平成29年度第2回評議員会
- ・ 日時 平成29年6月27日(火)10時30分から
- ・ 場所 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋8
- ・ 目的である事項

### (1) 議案審議

- ・ 平成28年度事業報告及び決算について
- ・ 評議員の選任について
- ・ 役員の任期満了に伴う選任について

### (2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

## (6) 報告事項

- ・ 平成29年3月1日以降の職務の執行状況について  
天沼業務部長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどを報告。安定した劇場運営について、特に、育成事業の活動について横須賀市から高い評価を受けた旨報告された。

・「第 17 回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2017』オーディション in YOKOSUKA」の開催結果について

天沼業務部長が報告。

去る5月6日、7日に開催され、出場者では常に韓国人歌手のレベルが高く、何回も本選に送り出しているが、今回はタイから若干20歳の素晴らしい才能を見出せた。横須賀のオーディションがアジアの若い歌手たちの世界への登竜門となったといえる。期間中は500名が来場し、オペラが着実に地域に根付いており、引き続き本コンクールを通じて、若手歌手の育成と文化の普及に寄与していく旨報告された。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、11時40分、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成29年6月23日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長

代表理事（理事長）

小 沢 一 彦

(代表者印)

代表理事（副理事長）

木 村 忠 昭

印

監 事

鈴 木 嘉 明

印

監 事

山 寄 進 康

印